

(様式1-表)

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	123	豊田市立 足助中 学校	代表	松本 享子
------	-----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、その他（ ）】から選ぶ。

テ マ	地域の風が行き交う学校づくり	分野	b	地域連携
学 校 づ く り の 視 点 (ね ら い)	サブテーマ 地域に根ざしたキャリア教育の推進を通して	f(その他)は分野を右欄に記入		
活 動 内 容 ・ 計 画	<p>（1）総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年「共に生きる一今、自分にできること」地域のさまざまな人との交流を通して、他者の多様な個性を尊重し、自他の理解を深めるとともに、豊かな人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身に付ける。 ・第2学年「なりたい自分を見つけよう」職場での体験を通して、自分の適性や勤労の意義に対する理解を深め、自分の進路について考える。 ・第3学年「ふるさと足助とともに」1・2年生での学びや経験をもとに足助地区の歴史や文化を見直し地域の課題に対して自分たちでできることを考え、企画・実行する。 <p>（2）ASK活動（生徒会による、地域貢献活動）足助交流館や観光協会の方とリーダーとなる生徒が活動内容を相談して、清掃活動や環境整備等を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月～ 計画・事前準備（地域の方との話し合い） ・10月14日 実践 ・10月～ 活動のまとめ 			
補 助 員 配 置	<p>（1）学校図書館司書…生徒の情報収集・活用能力、調査能力の育成を図るため、学校図書館司書を配置し図書館機能を充実させる。</p> <p>（2）校内整備員…運動場周辺や校門坂周辺を中心に環境を整え、生徒たちが安全に学校生活を送ることができるようにする。</p>			
実 績 ・ 期 待 さ れ る 効 果	<p><実績></p> <p>活動を通して、地域のよさを再認識するとともに、地域住民からの期待を自覚し、具体的な行動につながっている。総合的な学習で継続的に福祉や地域について学ぶことで、地域のボランティア活動に積極的に参加する生徒が増えている。また、学び方を身に付けるための学校図書館司書による授業支援が年々拡大している。</p> <p><期待される効果></p> <p>①ASK活動（地域貢献活動）</p> <p>学習を通して足助に対する関心が高まり、地域行事でのボランティア活動等に多数の生徒が参加するようになることを考える。</p> <p>②職場体験学習（ACW）</p> <p>地元での職場体験を通して、自分の将来像や職業観がより具体的になり、将来の具体的な展望を描くとともに、地域への感謝の気持ちをもつことができるようになる。</p> <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民とのふれあいや心の教育の充実により、地域への愛着を育み、豊かな人間性を育成することができる。 ・図書館教育の充実により、学習方法の基本となる情報の収集・発信といった情報活用能力を育成することができる。 ・小学校と連携して中交流会を実施することで、地域貢献の意識を早期に育てたり、中学入学への不安を解消したりすることが期待できる。 ・運動場及び校門坂周辺の環境整備により、生徒が安心して安全に活動したり、登下校したりすることが期待できる。 			
検 証 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・活動記録の蓄積 ポートフォリオで、生徒一人一人の思考の深まりや広がりを振り返ることができるようにする。 ・活動の各段階において評価の機会を設定する 「活動計画」→「活動」→「活動のまとめの作成」→「報告・発表」というように手順を踏んで行っていく。 ・個に応じた評価と支援 地域の人とのかかわりを大切にすることをねらい、生徒自身が交渉をしたり、進んでボランティアに参加したりする場面に教師が寄り添うようにして、個に応じた観察・記録や支援を行う。 			